

む す び

以上が、令和7年度の一般会計・特別会計歳入歳出決算の審査結果であるが、これを総括すると、次のとおりである。

当年度の一般会計及び特別会計を合わせた決算総額は、歳入 2,483 億 7,149 万 2,690 円、歳出 2,436 億 6,952 万 8,895 円で、前年度と比較すると、歳入は 31 億 3,606 万 5,726 円（1.3%）、歳出は 38 億 2,897 万 5,440 円（1.6%）それぞれ増加している。

一般会計及び特別会計を合わせた決算収支は、形式収支 47 億 196 万 3,795 円から事業の繰越しに伴い翌年度へ繰り越すべき財源 14 億 9,610 万 9,049 円を差し引いた結果、実質収支は 32 億 585 万 4,746 円の黒字となっている。実質収支の内訳は、一般会計が 40 億 9,469 万 2,026 円の黒字、特別会計が 8 億 8,883 万 7,280 円の赤字である。実質収支が赤字となった特別会計は、臨海土地造成事業特別会計（△ 22 億 2,388 万 5,986 円）であり、翌年度歳入の繰上充用により補填されている。全会計の当年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は 1 億 2,065 万 1,939 円の赤字となっている。単年度収支が黒字となったのは、5 特別会計（港湾特別会計、臨海土地造成事業特別会計、渡船特別会計、母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計、農業集落排水事業特別会計）である。なお、港湾特別会計においては、長年の累積赤字が解消されている。

次に、普通会計における財政状況を分析した結果は、次のとおりである。

当年度における本市の自主財源比率は 45.0%であり、前年度と比較して 1.6 ポイント低下している。一般財源等が歳入総額に占める割合は 57.9%であり、前年度と比較して 4.6 ポイント低下している。

歳出総額に占める義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）の割合は 43.1%であり、前年度と比較して 1.3 ポイント低下している。

財政分析指標を見ると、数値が高いほど自主財源の割合が高く、財政力の強さを示す財政力指数は、0.56 であり、前年度と同値となっている。

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は 95.8%であり、前年度と比較して 0.8 ポイント低下している。

標準財政規模に対する実質収支額の割合を示す実質収支比率は 6.3%であり、前年度と比較して 0.1 ポイント低下している。

なお、普通会計における積立基金の年度末現在高は、前年度と比較して 35 億 4,081 万 8,000 円増加している。

本市においては、全国平均と比べて人口減少と少子高齢化の進行が相対的に速く、今後も高齢化率の上昇と生産年齢人口の減少が見込まれる。これに伴い、市民の価値観やライフスタイルの変化等を背景とした行政需要の多様化・高度化への対応に加え、社会保障関連経費の負担や少子化対策経費の増加が見込まれている。さらに、公共施設やインフラの改修・更

新需要に加え、物価高騰や金利上昇といった経済環境の変化や脱炭素化の推進をはじめとする社会変革への対応など、財政需要は多岐にわたり増加が見込まれるため、今後の財政運営は中長期的に一段と厳しさを増すものと考えられる。

こうした中、当年度の一般会計では、自主財源の根幹を成す市税が 22 億 4,772 万 2,126 円（6.8%）増加し、収入率は、前年度と比較して 0.4 ポイント上昇の 98.4%となっている。また、寄附金のうち、ふるさとしものせき応援寄附金（ふるさと納税）は、4 億 2,995 万 3,330 円（16.3%）増加している。さらに、港湾特別会計では使用料及び手数料が 1 億 646 万 6,057 円（14.6%）増加しており、これらの増収は自主財源の強化に資する一定の成果として評価できる。一方で、これらの増収は、景気動向等の外部要因により変動する可能性もあることを踏まえ、外部要因等に左右されない安定的な財源確保に向けた取組を着実に推進されたい。

以上を踏まえ、歳入に関しては、引き続き負担の公平性の観点から市税等の収入率の向上及び未収金の発生抑制と縮減に向けた取組に一層努めるとともに、受益者負担の適正化等の税外収入を含む自主財源の確保・安定化に向けた取組を着実に推進されたい。

一方、歳出に関しては、限られた財源を有効に活用するため、成果指標（KPI）に基づく点検・評価を通じて、費用対効果の観点から事業の必要性・妥当性及び規模の精査を徹底し、適切な予算措置と適正かつ効果的な執行に取り組まれたい。

こうした取組のもと、第 3 次下関市総合計画の基本理念である「可能性を築くまち」の実現に向けて、持続可能で一層効率的かつ効果的な行財政運営が図られることを期待するものである。